

木材乾燥技術セミナーを開催しています

技術部 生産技術グループ 伊藤洋一

木材乾燥技術セミナーは、もともとは北海道乾燥材普及協議会が道内各地で行っていた「木材の人工乾燥技術研修会」が前身です。その後、同協議会の業務が北海道木材産業協同組合連合会（道木連）に統合されるとともに、以前のようにこまめに各地を回ることが難しくなりました。

しかし、木材乾燥の重要性を認識している民間企業・団体の方々より、数年に一度で良いので近くの町で開催してもらえないかとの要望をいただき、それに応えるべく林産試験場が北海道林産技術普及協会の支援を得て、平成 20 年より木材乾燥技術セミナーとして開催していくこととなりました。

林産試験場があとを引き継ぐにあたり、多くの方が参加しやすいように、それまでいただいていた参加料やテキスト代をなくし、職員が開催会場ごとに内容を変えた資料を作成する方式にあらためました。また、セミナーが終わった後に個別の相談に应付する時間を設け、乾燥作業を担当する方（乾燥技術者）が日頃から感じている疑問にお答えしたり、乾燥以外の分野の質問については、当場の担当研究員からお答えするようにしています。

最近では、年 2 回のペースで道内各地で開催しています（表 1、写真 1～2）。

表1 過去の木材乾燥関連の研修会・セミナー

年度	会場
18	旭川，遠軽（丸瀬布），釧路，苫小牧，江差
19	
20	伊達，北見
21	新ひだか（静内），函館
22	旭川 紋別（オホーツクウッド研修会と併催）
23	夕張（市営住宅見学会と併催） 紋別（オホーツクウッド研修会と併催）

※ 20 年度より木材乾燥技術セミナーとして開催

開催にあたり、北見工業技術センターなど各地域にある公設機関、道木連、各振興局の協力を得て、事前の調査をもとに、一会場あたりの人数をたくさん集め



写真1 木材の人工乾燥技術研修会（18年度，遠軽会場）



写真2 木材乾燥技術セミナー（22年度，紋別会場）

ることよりも、どの分野の話ですればよいのかを検討したり、あるいは参加する方々から寄せられる疑問にお答えするように講義内容を変えながら対応しています。

北海道内でも地域ごとに使われる樹種に多少の違いがあります。道内全域でトドマツ・カラマツの乾燥についての質問はいつもありますが、それに加えて道南であればスギ、ヒノキアスナロ（ヒバ）、キリなどの樹種についての解説を求められることがあります。

また、昔に比べて数が少なくなりましたが、広葉樹の乾燥を手がけられている製材工場や家具工場の方か

ら質問を寄せられることもあります。

質問の内容によっては、乾燥装置など機械操作をしながら、詳しい説明を必要とする場合があります。その場合は、セミナーの後で個別に訪問して現地指導を行っています（写真3）。



写真3 生産管理の技術指導事例

セミナーの開催時間も参加する方々の要望にできるだけ合わせるようにしています。乾燥技術者にとって、出勤時から午前中にかけては、乾燥装置やボイラーの動作確認、乾燥の進み具合のチェックと乾燥条件の管理など、特に多くの作業を行わなくてはなりません。このような乾燥技術者にたくさん参加していただくときには、セミナーの開催時間を夕方～夜に設定する場合もあります。

22～23年度については、地域ブランド材であるオホーツクウッドの生産管理方法を学ぶ研修会とともに開催することで、SGEC（緑の循環認証会議）などの森林認証制度や全国の各自治体が行っている地域材認証制度についても事例紹介や解説を行うことができました。

地域ブランド材については、多くの都府県が独自の基準を設けて取り組んでおり、北海道でも統一基準値の設定を含め、生産者の方々と意見交換しながら、取り組みを進めていくことが重要です。

23年度については、セミナーに参加する方の会社が生産した乾燥材を使っている建築現場での見学会をセミナーと同時に開催し、乾燥技術者に現場を見てもらう機会をつくりました。日頃、会社の外に出ることの少ない乾燥技術者にとっては貴重な機会になっているようです（写真4）。



写真4 木材乾燥技術セミナーと共に行った市営住宅建築現場見学会（23年度、夕張会場）

セミナーに参加される方の職種もさまざま、製材工場や集成材工場の乾燥技術者のほか、建築設計・施工を担当する方、森林組合など林業関係の団体の方、クラフトなど木工芸製品を製作・販売している方、高等技術専門学院で建築や造形を専攻している学生や教職員、各地域の議員、官公庁の林業・林産業担当の方など幅広いので、資料づくりにも工夫をしています。

基本的なところでは、平易な言葉使いや図表・イラストを多く使うことで参加者にわかりやすい資料や講演内容にしたいと思っています。

今後、セミナーに参加いただく機会がありましたら、是非申し込まれる際に、セミナーで話してほしいことについてお知らせ下さい。また、「わかりやすい言葉で解説してほしい」など要望があれば、できるだけ工夫し、対応していきます。参加する方と意見交換しながら、理解を深めていくセミナーでありたいと願っています。

24年度のセミナーは、12月20日、釧路管内で実施したところです。釧路・根室管内の木材・住宅関連企業から約60名の参加があり、カラマツ材の乾燥時に見られる割れやねじれの発生原因やその抑制方法、最新の乾燥技術等について講演しました。講演終了後も個別相談に対応するなど、充実したセミナーとなりました。2月には北見市で開催の予定です。